

昭和31年1月1日



才92号

# 区政のお知らせ

## 足立区役所

行 50  
足立区千住1の  
東京都足立区役所  
長 谷川久勇  
編 集  
総務課総務係  
電話足立83代表 { 0151  
3111

東京都足立区千住2の55  
巧文社(織田)  
株式会社  
電話足立83 { 1165  
1166

# 賀 心

静かに明けゆく昭和三十一年の黎明、それは伸びゆく足立の本年の活動を象徴するかのよりに力強い朝の姿である。それにしてもなんと壮麗でしかも希望に満ちた朝の光であらうか。だがしかしこの瞬間にも蒼天にそびえ立つ霊峰富士の雄姿を遠く望み、或は林立する煙突の下に或は広漠たる田野に、或は静かに明けゆく街々に本年の産業活動のやがて開始されようとする力強い息吹が感じられる。そして三十三万区民のそれらの立場における明るい希望の新年がいま始まろうとしている。ともども、明けゆく昭和三十一年の年頭を心から祝福しよう。

とはいえこの慶びのうちにも本年の発展と向上を求めんとする新たな緊張が感じられる。

元旦の朝は美しくまた静かである。この静けさのうちに盛りあがる新春の決意こそ足立区進展の力強い礎となることであらう。

# 年頭の辞

## 足立区長 齋藤恒助



昭和三十一年の年頭に際し、謹んで区民の皆様へ新年のお慶びを申し上げます

願ひ

見ます

れば、

昭和七

年市郡

併合に

より、

本区が

誕生して以来、ここに二十有

余年の間着々として発展を

遂げ、現在人口三十三万余を

擁するに至りました。

しかし乍ら、才二次世界大

戦による戦災、或はまた数次

にわたる台風の災害等幾多苦

難を味わい、本区の歩みきた

つた道は決して坦々たるもの

でなかつたことは御承知のと

おりであります。

幸いに区民各位の不屈の意

志と不断の努力の成果が、今

日の本区発展の実を結んだも

のでありまして、まことに往

時を回顧して感慨無量であり

感謝に堪えないところであり

ます。

ひるがえつていま私どもが

たが、各

国の情勢

は複雑極

わが国も

世界情勢

の動向の

列外に安

易たることを許されません。

私ども国民は視野をひろく世

界に求めつつも自らの立つ足

下をしつかり踏みしめなくて

はならないと存じます。この

意味において地方自治の本旨

に則り、これが振興を促進し

住民の福祉を増進することは

刻下の急務といえましよう。

本区においても、これらを

達成するためには、区民各位

の区政に対する深い認識と御

協力を得なければならぬこと

とは当然であります。

このためには、私ども区政

に携わるものとしては、区民

の意のある処を体し区政運営

の上にこれを反映しなければ

ならないと存するのでありま

す。

而してこのなすべき諸種の

問題の中には区自体で処理出

来る事ながら、或いは国や都の

処理する問題等内容は多岐多

様であります。私どもはそれ

々々について出来る限りの

努力を払いたい所存であり

ます。

昭和三十年におきましても

学校の増築、土木事業或いは

民生福祉事業、その他産業振

興対策等を実施して参りまし

たが、御承知のとおり今日地

方財政は極めて窮迫しており

本区においてもその例外でな

く財政的には極めて恵れず、

都区財政調整交付金に依存す

るところ大であります。

従つてこの苦しい財政にあ

つて諸般の施策等にも不充分

なことが多々あるとはまこと

に遺憾に堪えないところであ

ります。

私共は昭和三十一年の年頭

に当り明るい希望の下思いを

新たに地方自治振興の理

想達成に邁進致したいと存じ

ます。

どうか本年も明るい住み良

い足立区の建設に倍旧の御支

援を賜りますようお願い申

し上げます。

私はここに本区の隆昌と区

民各位の御多幸を祈り年頭の

ことばをいたします。

昭和三十一年元旦

# 新春を迎えて

## 足立区議会議長 遠峰富次



昭和三十一年の新春を迎え

ますに当り、絶えざる区民各

位の区政に対する御協力に深

甚なる

感謝の

意を表

するも

のであ

ります

わが

国にと

りましては、今度こそ間違い

ないと思つて居つた国連加盟

を広く国内の状況から世界に

向け、思ひを深くその平和と

繁栄に馳せつつ円満区政の完

たからん事と共に、この年の

才一步を踏み出したいと思考

するものであります。

かような意義深い新年に当

り此に区民各位と共に喜びを

分かち合い多事多難であつた過

ぐる年を省み新しい年の抱負

を述べてみたいと存じます。

御承知の如く当区の財政事

情は二十三区中甚だかんばし

からざる窮乏の区として都の

財源措置を唯一の頼みとする

状態を過去十年に涉りあゆん

で来ました。

然し乍らも盛り上らうとす

る区民の努力が諸産業の粹と

米どころ足立の名と共に我々

の眼を見張らせております事

はこの上もなき喜びでありま

す。

昼夜を分たぬ区民各位の不

断の努力は区議会活動の標示

機であり、住民自治の眞隨に

向わしめる叱た激励の鞭であ

らうかと感謝申し上げている

次才であります。

山積されております施政の

中区民の眞の福祉的行政を重

点的に処理することによつて

我々の使命をはたし乏しい財

政から最大の効果的行政が生

れる事によつて日頃の区民各

位の御努力に報いたいと存ず

るものであります。

二三の例を申し上げます。

ば主要道路の補装、側溝改修

等即ち土木事業の漸進、校舎

等による教育行政の完備、生

業資金貸付による中小企業者

の救済、産業振興館の完備等

文化の向上は申すに及ばず、

如何にして明るい生活が出来

るのか、区民の利便が如何に

して計られるであらうか、三

十三万区民の代表である区議

会の念願は茲にあります。

昨年が試練の年でありまし

れば、それは昭和三十一年の

基礎を作られた有意義な年で

あつたと思ひ腕を撫し新春の

活動に向える事を信じて居り

ます。

昨年の事業と対しましては

区内選出都議会議員全員の御

協力を得まして順調なる歩み

を見ました事を衷心より感謝

申し上げますと共に昭和三十

一年の事業に対しても特段の

御盡力をお願い申し上げます。

特に本年は西新井橋のかけ替

千住新橋の人道併置、牛田畑

の改修、鉄筋校舎の建築等急

を要する大きな事業が山積し

て居ります。

西新井橋、千住新橋は大き

な国費を要する事業なれば、

本年こそ区民年来の希望が貫

徹出来ませう様都議会議員と一

体になり最善の努力を傾注い

たす覚悟であります。

区民各位の寄りなき御協力を

を御願ひ申し上げますと共に

御健康と御多幸を祈念致し御

挨拶といたします。

昭和三十一年元旦

# 昭和三十年を省みて

## 順調な発展を続ける足立区

戦後既に十一年目の新年を迎える事になりました。

思えば足立区も混乱から復興再建そして安定、向上と波乱変化に富んだ十年余を過して参りました。

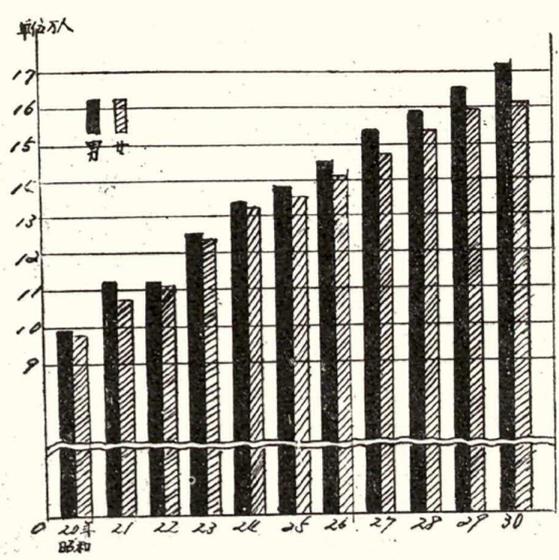
昨年は新区長の就任、地方選挙による新区議会の誕生そして多年待望の産業振興館の完成といろ／＼の出来事がありました。

ここに新年を迎えるにあたり昨年の区政のあらましをお知らせ致しますと共に、本年の關係各課の抱負を述べ皆さんの御批判と御協力を仰ぐものであります。

# 人口

年々増加の一途をたどる人口当区の人口は終戦後目覚ましい増加率を示し昭和二十年当時と比較して、実に一・六倍弱の三十三万四千六百六十六人（十二月一日現在）にも達しました。

その内訳は  
 男 十七万一千三十八人  
 女 十六万三千五百七十八人  
 男女の比率は女百人につ



き男百五・八人  
 人口密度  
 一平方料あたり  
 六千二百十八人  
 昭和三十年中十二月一日までの人口推移  
 自然増 四千八十二人  
 出生 五千八百九十四人  
 死亡 千八百二十二人  
 社会増 五千四百四十九人  
 合計九千五百三十一人  
 これは一時間二十一分に一人  
 生れ、四時間二十六分に一人  
 死亡し一時間二十八分に一人

# 民生

区民の福利厚生という分野を受けもつ民生行政の各種事業のうちで最近ラジオ、新聞等で盛にいわれている新生活運動については四年の歴史をもつに至りましたが昨年は各地域の婦人団体を対象としてまず日常生活の合理化、簡素化

他所から人が転入して来るといふ計算になります。次に昭和二十年から昭和三十年までの人口増加状況をグラフに表して見ました。  
 (但し昭和三十年は十二月一日現在の数字であり人口は配給人口を基としたものです)

# 議会

昨年中に開かれた区議会本会議及び可決された案件は次のとおりになっています。

- 審議可決された案件 九回
- 条例に関するもの 六件
- 区有財産に関するもの 三件
- 学校の設置又は廃止に関するもの 三件

この義捐金は被保護世帯、廃品回収業世帯、留守家族世帯、民間就労の日雇世帯等五千三百五十世帯に二百円づつ、簡易保育所及び養老院等の施設収容者百十四人に百円あて配付しました。

募金額 一、四七二、九三五円  
 募金世帯 三五、八九九世帯  
 運動中間状況 (十二月二十二日現在)  
 ○昭和三十年年度歳末助け合い募金額

をという見地から食生活衣生活の改善講習会を開催し、多大の効果をあげ、貯蓄増強の面では子供銀行の表彰を行いその育成に拍車をかけました。福利の面では留守家族の慰安激励大会、生活困窮者の歳末助け合い運動等活潑な動きを示しました。  
 この外本年早々から国民健康保険基礎調査が行われることになつています。  
 ○昭和三十年年度歳末助け合い運動中間状況 (十二月二十二日現在)

昨年実施した土木事業 30.1.1~30.12.12

事業名	延長 (m)	面積 (m <sup>2</sup> )	工事費 (円)	労務者 (人)	摘要
路面補修事業	13,623	66,713	11,686,875	7,184	簡易補装ベイントコート及砂利敷並
道路側溝改修事業	8,454		5,816,140	1,598	鉄筋コンクリートU型側溝及マコト式側溝
橋梁補修事業	15橋		10,403,163	3,054	鉄筋コンクリート永久橋
水路改修事業	1,774		10,730,872	4,930	コンクリート護岸・コンクリート板橋及欄干
公園補修事業	5ヶ所		2,041,000	1,038	門・柵・植込・照明及設備
道路改修事業	911	7,056	2,918,000	1,602	道路構造令に依る拡市及盛土
計			43,596,050	19,406	
失業対策事業			78,715,444	167,880	

# 土木

御承知のとおり当区は都内第二位を占める面積を有しているため、都市計画事業の遅延

するもの 三件  
 予算に関するもの 八件  
 寄附受領に関するもの 四件

から道路、河川、水路等多くの改良事業が山積してありますが、これ等の事業整備に絶えざる努力を傾けております。昨年中は都の建設局の実施した大谷田町地先の中川に架設した飯塚橋、東加平町地内の加平排水場、小合大門町地内に新設した熊の木排水場、千住桜木町地先の高潮防禦護岸工事等多年懸案の事業が何れも完成しました。

今年には主要道路の路面整備と河川、水路の改修に力を注ぐと共に、多年待望の西新井橋の改修と柳原町牛田堀幹線下水道事業の実現に心からの期待を寄せております。

